

公開シンポジウム 第2回「土の教育」研究会 「土の教育」の実践方法を考える

日時：2026年5月30日（土）

13：30～16：00

場所：オンライン（Zoom）

参加費：無料（一般参加可）

参加対象：小・中・高等学校等の教職員、
教育委員会関係者、大学教員、
教員志望の学生

*下記のフォーム（またはQRコード）
からお申し込みください。

<https://forms.gle/2xxt67GLWc8D1YfLA>

申込締切：2026年5月27日（水）

皆様は4パーミル・イニシアティブをご存知でしょうか？4パーミル・イニシアティブとは、「世界の土壌の表層の炭素量を年間0.4%（4パーミル）増加させることで、人間の経済活動によって発生する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方に基づく国際的な取り組み」（農林水産省HP）です。

また、「植生を中心とし土壌を環境要素の一つとして、それらの相互作用系を考える生態系の概念」に対し、「土壌を中心に置き、植生をも含めた環境要素の間の相互作用が土壌を生成するという現代の土壌観」が提唱されています（久馬一剛「土壌とは何か」同編『最新土壌学』。朝倉書店、1997年、p.8）。

このように、「土壌」には、私たちの世界の見え方を転換させてくれる面白さがあります。しかし、学習指導要領で、「土」が扱われる場面は極めて限られています。

そこで、この度、「土の教育」に関心をもつ先生方と、土壌学の専門家の先生方との間で、「土」をどのように教材化していくことができるのかに関して、共同研究する会を立ち上げることにいたしました。

第2回研究会では、「土の教育」に取り組んでおられる学校の先生方に、実践報告をいただきます。また、土壌学の研究者からのご助力を得つつ、京都大学の学生たちが作成した「土の学習」パンフレットについてご紹介します。

主催：京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

後援：一般社団法人日本土壌肥料学会

科研費
KAKENHI

※この公開シンポジウムは、下記の研究プロジェクトの一環として実施いたします。

科学研究費補助金 基盤研究（B）「子どもの多様なニーズに対応するパフォーマンス評価を活かしたカリキュラム改善」
（研究代表者：西岡加名恵、研究課題番号：23H00928、2023～2027年度）



公開シンポジウム

(第2回「土の教育」研究会)

「土の教育」の実践方法を考える

次第

13:30 開会の挨拶と趣旨説明

西岡 加名恵

(京都大学大学院教育学研究科教授)

13:40 「土の学習」パンフレットのご紹介

京都大学教育学部2025年度学校探究ゼミナール「土の教育」班

山岡直生、渡辺 悠斗、島崎 玲、

津田 ひなた、巽 愛璃、磯部 真衣

14:00 実践報告1

「炭素循環における土の役割～小学校5年生との探究活動を通して～」

巽 豊 (大阪教育大学附属平野小学校教諭)

14:20 実践報告2

「持続可能な農業を支える土壌教育～農業高校で行ってきた実践と
その先へ～」

大西 千尋 (及びそのご指導を受けた高校生 (予定))

(北海道岩見沢農業高等学校 農業科学科
主幹教諭)

14:40 グループでの対話

(ブレイクアウト、質問受付)

15:00 全体ディスカッション

コメンテーター 波多野 隆介 (北海道大学名誉教授)

森 圭子 (埼玉県立川の博物館学芸グループリーダー)

小崎 隆 (愛知大学国際問題研究所名誉教授)

15:50 閉会の挨拶

西岡 加名恵

司会: 矢内純太 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

<問合せ先>

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

e-mail: e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

